

貸 借 対 照 表

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産	252,498	I 流動負債	65,956
現金預金	106,830	未払金	55,801
受取手形	19,221	未払法人税等	152
未収金	124,906	未払消費税等	5,533
有価証券	0	預り金	828
貯蔵品	72	賞与引当金	3,641
その他流動資産	1,467		
II 固定資産	45,955	II 固定負債	25,143
有形固定資産	14,469	退職給付引当金	25,143
車 両	12,482		
工具器具備品	1,987	負債合計	91,099
無形固定資産	469		
電話加入権	469	(純資産の部)	
ソフトウェア	0	I 株主資本	207,354
投資その他の資産	31,016	資本金	30,000
投資有価証券	29,990	利益剰余金	177,354
長期前払費用	492	その他利益剰余金	177,354
保証金	250	別途積立金	10,000
その他の投資	283	近代化積立金	19,500
		繰越利益剰余金	147,854
		純資産合計	207,354
資産合計	298,454	負債・純資産合計	298,454

損 益 計 算 書

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		3 1 1, 6 1 9
売 上 原 価		2 1 6, 6 8 5
売 上 総 利 益		9 4, 9 3 4
販売費及び一般管理費		7 9, 7 9 4
営 業 利 益		1 5, 1 4 0
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	2 5 6	
その他の営業外収益	8 2	3 3 9
経 常 利 益		1 5, 4 7 9
特 別 利 益		
特 別 損 失		
税引前当期純利益		1 5, 4 7 9
法人税、住民税及び事業税		2, 0 9 9
当 期 純 利 益		1 3, 3 8 0

株主資本等変動計算書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金		
		近代化 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金
前期末残高	30,000	19,500	10,000	134,473
当期変動額				
当期純利益				13,380
株主資本以外の 項目の当期変動額				
当期変動額合計				13,380
当期末残高	30,000	19,500	10,000	147,854

(単位：千円)

	株主資本		評価・換算差額等	純資産合計
	利益剰余金合計	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
前期末残高	163,973	193,973		193,973
当期変動額				
当期純利益	13,380	13,380		13,380
株主資本以外の 項目の当期変動額				
当期変動額合計	13,380	13,380		13,380
当期末残高	177,354	207,354		207,354

個別注記表

1. 重要な会計方針に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- | | | |
|-----------|------------|--|
| ①満期保有目的債券 | 償却原価法（定額法） | |
| ②その他有価証券 | 時価のあるもの | 期末日の市場価格等に基づく時価法
（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定） |
| | 時価のないもの | 総平均法による原価法 |

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ① 貯蔵品 最終仕入原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産
（リース資産を除く） 定率法
- ② 無形固定資産
（リース資産を除く） 定額法
ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
- ③ リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。
なお、平成20年3月31日以前に取得した所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(4) 引当金の計上基準

- ① 賞与引当金
従業員に対する賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。
- ② 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（簡便法による期末自己都合要支給額）に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。
- ③ 貸倒引当金
売上債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により回収不能見込額を計上しております。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 関係会社（親会社）に対する金銭債権・債務	
関係会社（親会社）に対する短期金銭債権	1,426 千円
関係会社（親会社）に対する短期金銭債務	39,609 千円
(2) 有形固定資産の減価償却累計額	111,671 千円

3. 損益計算書に関する注記

(1) 売上高	
鉄道利用運送事業	193,167 千円
一般貨物自動車運送事業	118,400 千円
付帯事業	52 千円
(2) 売上原価	
鉄道利用運送事業	105,980 千円
一般貨物自動車運送事業	110,704 千円
付帯事業	—
(3) 関係会社（親会社）との取引高	
売上高	13,710 千円
売上原価	384,384 千円
販売費及び一般管理費	23,831 千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の総数	
普通株式	60 千株

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生主な原因は、賞与引当金、退職給付引当金等であり、評価性引当額は9,957千円を計上しております。

繰延税金負債の発生主な原因は、その他有価証券評価差額金であります。

6. 金融商品に関する注記

- (1) 金融商品の状況に関する事項
- 当社は、一時的な余資は、「資金運用取扱要綱」に基づき、安全性の高い金融資産で運用しております。
- 有価証券はすべて国庫短期証券、また、投資有価証券はすべて地方債であります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成 28 年 3 月 31 日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表 計上額※	時価※	差額
(1) 現金預金	106,830	106,830	—
(2) 受取手形及び未収金	144,128	144,128	—
(3) 有価証券	—	—	—
(4) 投資有価証券	29,990	31,314	1,324
(5) 未払金	(55,801)	(55,801)	—

※負債に計上されているものについては、() で示しております。

(注)

(1) 現金預金、並びに(2)受取手形及び未収金

これらは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券、並びに(4)投資有価証券

取引金融機関から提示された価格によっております。

(5) 未払金

これらは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

7. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主

属性	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	鹿島臨海鉄道(株)	被所有 直接 100%	役員の兼任 営業取引	貨物連絡 運輸他	408,216	未払金	39,609

取引条件及び取引条件の決定方針等

連絡運輸に関しては、相互に価格を提示し、交渉のうえ決定しております。

(注) 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

8. 1株当たり情報に関する注記

- | | |
|----------------|-----------|
| (1) 1株当たり純資産額 | 3,455円91銭 |
| (2) 1株当たり当期純利益 | 223円01銭 |

9. その他の注記

記載金額は表示単位未満を切捨てて表示しております。